

# 第三国集団研修コンタクト・ミッション報告書

— コスタ・リカ，麻薬犯罪防止 —

昭和63年6月

国際協力事業団  
研修事業部



研 管
J R
88-35



# 第三国集団研修コンタクト・ミッション報告書

— コスタ・リカ，麻薬犯罪防止 —

18100

JICA LIBRARY



1067625[2]

昭和63年6月

国際協力事業団  
研修事業部

国際協力事業団

18100

## 序 文

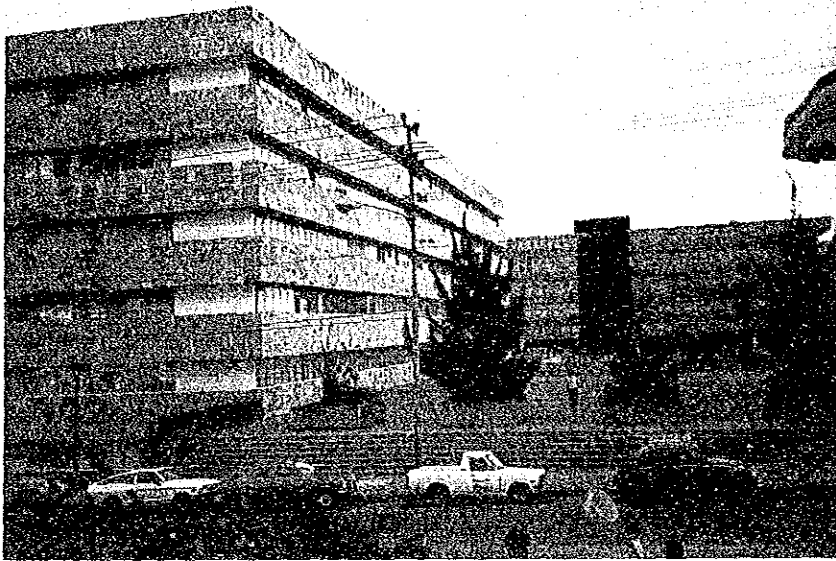
第三国研修とは、社会的、文化的、言語的に共通の基盤をもつ一定の開発途上地域に研修実施国を選定し、そこに当該地域内の途上国からの研修員を受入れて、より現地事情に適合した技術、知識の移転を図り、これにより、開発途上国間協力の推進に寄与することを目的としている。昭和49年度、タイのコラート養蚕研究訓練センターで初めて実施して以来、年々、第三国研修実施協力要請は増え続け、昭和62年度には17ヶ国で、36コースを実施した。

コスタ・リカにおいては、現在2件の第三国研修が実施されており（コスタ・リカ大学・電子顕微鏡及び、熱帯農業センター・アグロフォレストリー）コスタ・リカ国内外において、高い評価を受けている。これに加え、61年9月にコスタ・リカ政府からの麻薬犯罪防止第三国研修の実施要請に基づき、今回のコンタクトミッション派遣が実施されるに至った。本報告書は、その調査結果、協議内容を取りまとめたものである。

本件の実施についてご協力を賜った外務省、法務省、アジア極東犯罪防止研修所、及び在外公館に深甚な謝意を表する次第である。

昭和63年6月

研 修 事 業 部 長



ILANUD本部のある司法ビル



ILANUDトレーニングセンター

# 目 次

1. コンタクト・ミッションの派遣	1
1. 1 派遣目的	1
1. 2 調査団員	1
1. 3 派遣期間	1
1. 4 調査日程	1
1. 5 主要面談者	2
1. 6 協議事項概要	3
2. 案件の概要	4
3. 調査内容	5
3. 1 要請の背景	5
3. 2 本研修の必要性及び意義	5
3. 3 コスタ・リカにおいて I L A N U D の主催により本研修を実施することの意義	5
3. 4 研修名	6
3. 5 目的	6
3. 6 研修課題	6
3. 7 実施時期・期間	7
3. 8 シラバス	7
3. 9 割当国	7
3. 10 定員	7
3. 11 参加資格	8
3. 12 研修実施機関	8
3. 13 研修指導能力	9
3. 14 研修運営能力	9
3. 15 建物・施設	9
3. 16 予算	10
3. 17 先進国の協力	10
3. 18 専門家の派遣	10
3. 19 カウンターパート研修	11
資 料	
1. I L A N U D の組織・業務内容について（含組織図）	17
2. 第三国研修「麻薬犯罪防止」実施に関する討議内容（I L A N U D 側作成）	41





## 1. コンタクトミッションの派遣

### 1.1 派遣目的

昭和61年9月にコスタ・リカ政府から出された第三国研修実施の要請について、その背景、研修の必要性及び意義、研修企画の概要、研修の実現可能性等の調査。

### 1.2 調査団員

団長・総括：アジア極東犯罪防止研修所 教官  
塩谷安男

研修計画：アジア極東犯罪防止研修所 教務係員  
網嶋崇芳

研修運営：JICA研修事業部管理課  
橋口道代

### 1.3 派遣期間

昭和63年4月9日～4月18日（10日間）

### 1.4 調査日程

4月9日（土）	移動（JL006）	東京→ニューヨーク
10日（日）	〃（PA427）	ニューヨーク→サンホセ
11日（月）	資料整理他（コスタ・リカ休日）	
12日（火）	コスタ・リカ最高裁判所長官表敬 ILANUD表敬 日本大使館表敬及び打ち合わせ コスタ・リカ司法大臣表敬	
13日（水）	ILANUDとの協議	
14日（木）	〃	
15日（金）	外務省表敬 司法大臣主催昼食会 日本大使館報告	
16日（土）	移動（MX908）	サンホセ→ロスアンゼルス
17日（日）	移動（JL061）	ロスアンゼルス→東京
18日（月）	到着	

1. 5 主要面談者

I L A N U D 国連ラテンアメリカ犯罪防止研究所 (Instituto Latinoamericano De Naciones Unidas Para La Prevencion Del Delito Y Tratamiento Del Delincuente)

- \*Mr. Jorge A. Montero : I L A N U D 所長 (Director General)  
Mr. Elias Carranza : " 次長 (Deputy Director General)  
Mr. Ronald J. Woodbridge : " 補佐 (Assistant of Director General)  
Ms. Isabel Chacon : " 国際協力担当 (International Cooperation Officer)  
Ms. Sonia Ma. Braenes : " 総務財務担当 (Coordinator, Administration and Finance)  
\*Ms. Cristina Rojas Rodriguez : " 調整官  
Ms. Ana Isabel Garita : " 専門官 (Project Director)  
\* J I C A 帰国研修員

コスタ・リカ司法省

Dr. Luis Paulino Mora : 司法大臣

コスタ・リカ最高裁判所

Dr. Miguel Blanco : 最高裁判所長官

コスタ・リカ外務省

Dr. Alver Antillon : 外務審議官

在コスタ・リカ日本大使館

渡辺利夫 : 臨時代理大使  
飯島 清 : 二等書記官  
矢島 清 : "

## 1. 6 協議事項等概要

〔4月12日〕

### 最高裁判所

最高裁判所はILANUDと強い関係を持っており、長官から本研修実施について協力を惜しまないとの表明があった。

### I L A N U D

協議に加わるメンバーの紹介を行ない、ILANUD側からは組織についての簡単な説明があった。調査団側からは、協議内容の確認及び必要資料の準備を要請した。

### 司法省

司法省はILANUDと直接強い関係があり、それは現ILANUD局長が前司法大臣であったことからわかる。現司法大臣からも強く協力する旨言明があった。

〔4月13日〕

### I L A N U Dとの協議内容

#### I L A N U D側からの説明

組織について（活動、財政）

中南米の麻薬問題の状況

本セミナー開催の意義・目的

コスタ・リカにおける開催の意義

ILANUDとコスタ・リカ政府との関係

参加国及び参加者資格

〔4月14日〕

### I L A N U D施設の見学……Documentation Center

#### 調査団側からの質問及び説明

I L A N U Dのステイタス（コスタ・リカ政府？UN機関？）

本研修分野におけるILANUDの実績

研修期間

講師について

J I C Aからの経費分担、専門家派遣、C/P受入れ

〔4月15日〕

### 外務省

外務省もI L A N U Dと緊密な関係があり、本セミナー実施にあたっては外交チャンネルを通しての手続き等協力する旨表明があった。

### I L A N U D施設の見学……講堂

I L A N U Dトレーニングセンター

## 2 要請の概要

- (1) 中南米地域（ラテン・アメリカ及びカリブ海沿岸地域）の薬物汚染が深刻化しているとともに、同地域内諸国がアメリカ合衆国その他の先進国に対する薬物供給国となっている現状に鑑み、同地域の薬物濫用および不正取引の取締及び防止のための地域研修をコスタ・リカにおいてJICAの第三国研修として実施する。
- (2) 研修はセミナー形式とし、同地域内の関係諸国政府の薬物問題担当者を集め、また薬物問題の専門家を講師として参加させることにより、全体討議及び分科会を通して参加者相互間の情報及び意見の交換をはかるとともにその能力の向上をはかり、最終的には問題解決のための実務的方策に関する勧告案を作成する。
- (3) 研修の主要課題仮案は以下のとおり。
  - (a) 中南米諸国における薬物濫用・不正取引の現状
  - (b) 効果的な刑事司法の対応策
  - (c) 濫用者・中毒者の治療及び処遇
  - (d) 予防教育
  - (e) 有効な地域協力の推進

### 3 調査内容

今回の調査は、本件第三国研修の主催機関候補である犯罪防止及び犯罪者処遇に関する国連ラテンアメリカ研究所（コスタ・リカの首都サンホセ所在。略称ILANUD。以下、ILANUDという）の所長以下の職員との面接及び協議、同研究所施設の視察及びコスタ・リカ政府関係機関の長又はそれに準ずる者との面接等によって行った。

この調査方法により、本研修について得られた調査結果は以下のとおりである。

#### 3. 1 要請の背景

別添1「ラテン・アメリカ及びカリブ海沿岸地域の薬物問題」参照

#### 3. 2 本研修の必要性及び意義

上記3. 1のとおり、中南米地域諸国が薬物濫用及び不正取引に対して、現在までのところ十分に対応することができない状態であるところ、同地域における薬物汚染は近年極めて深刻な状況に陥っており、緊急に解決されるべき必要に迫られている。このため、同地域における薬物問題の実情を正確に把握し、同地域内諸国の協力体制の確立をはかり、適切な対応策を見い出すことが現在の急務であるが、同地域内関係諸国の薬物対策担当者及び薬物問題の専門家を参集させ、情報及び意見の交換・集積をはかるとともに各国担当者の能力向上をはかり、問題解決のための実務的方策を探ることをその目的とする本研修が同地域の必要に応えるものであるとともに、極めて有効な手段であるものと認められる。

#### 3. 3 コスタ・リカにおいてILANUDの主催により本研修を実施することの意義

(a) ILANUDは国連の地域研究・研修機関として1975年以来多くの地域研究・研修を実施した実績があり、中南米地域内諸国における評価が高いことから、同研究所を主催機関とすることにより、本研修のグレード・アップと円滑な準備運営をはかることが期待できる。

(b) ILANUDは恒常的に多くの地域研修を実施していることから、同研究所を主催機関とすることにより、その組織・経験をフルに活用することができる。

(c) ILANUDが国連機関であることから、その中立性・公正さが保障され、多くの国の参加が得やすいとともに、研修員も意見を述べやすい。

(d) コスタ・リカは、政情が安定しており、治安も比較的良いので、研修運営上トラブルが発生する危険が少ない。

(e) コスタ・リカ政府は、薬物犯罪取締のための新立法を行うなど、薬物犯罪の取締・予防に熱心であり、また、関係機関の本研修に対する関心、熱意及び期待も大きいものと認めら

れる。(本調査団に対し、最高裁長官、法務大臣及び外務審議官がいずれも本研修への全面協力を約束した。)

(f) I L A N U Dは、コスタ・リカ政府との関係が深く、従来国際研修の実施に当たっては、研修員の選定手続等に自己の連絡ルートのほか、コスタ・リカ政府の外交チャンネルも度々利用していることから、本研修に関しても同様に必要に応じて右外交チャンネルを利用できる。

### 3. 4 研修名(仮案)

“First Regional Seminar on the Prevention of Crime and the Treatment of Offenders : [Pursuing Effective Countermeasures against Drug Offenses”]

### 3. 5 目的

地域内諸国における薬物濫用及び不法取引の問題の総合的検討を行い、情報・意見交換及び研修員の能力の向上をはかる。また、問題を理論・実際の両面から分析して同地域内における実現可能な効果的解決策を提案する。

なお、I L A N U Dは本件第三国研修の初年度の研修については、できるだけ多くの国からできるだけ正確な情報を収集することに重点をおこうとしているが、それは本研修の意義及び今後の効果的運営という見地から鑑みて極めて適切な方針であると考えられる。

### 3. 6 研修課題※

- (a) 地域内諸国における総合的かつ適切な薬物犯罪対策の提案を行う。
- (b) 地域内諸国における薬物犯罪の予防並びに取締に効果的な方策の立案のための地域内諸国の協力関係の促進をはかる。
- (c) 参加各国の刑事司法制度に関する立法及び運用の統一をはかる。
- (d) 研修の勧告内容を参加国の法制に反映させる。
- (e) 薬物犯罪撲滅のために国際司法共助制度の発展・活用をはかる。
- (f) 捜査についての研究及び捜査担当官の研修に関する関係諸国の協力関係の発展をはかる

※ 具体的には、薬物犯罪予防及び取締のための立法、法の運用、組織体制、国際協力等について地域の実状に適した立案を行い、それを勧告というかたちで地域内諸国の政府に提案することになるものと思われる。

### 3. 7 実施時期・期間

- (a) 時期については、1989年1～2月という本調査団案をILANUDが了承した。但し、ILANUDは、1月は年度頭初であり、年間計画の立案等で多忙を極めるのでできる限り実施時期を遅らせて欲しい旨要望している。
- (b) 期間については、ILANUDは本研修の研修参加資格を政策決定レベルの人物とすると、彼らを確保できるのは2週間が限度である旨主張している。

### 3. 8 シラバス

具体的な内容は未定。ILANUDにおいて原案立案中。(なお、ILANUDは当初期間を1週間と想定してプランングをしていたので、それを変更することとなった。)

ILANUD企画にかかる本研修予定講師は以下の4名。

(いずれも同研究所の登録講師(後述))

Sergio Garcia R. (Mexico)

メキシコ検事総長

Edgar Saavedra (Colombia)

コロンビア最高裁判事

Edith Massun (UNESCO)

ユネスコ職員、かつてILANUDに2年間滞在し、薬物問題を研究した実績あり。

Horacio Cattani (Argentina)

アルゼンティン控訴裁判所判事

### 3. 9 割当国

ILANUDは前記3. 5記載の初年度研修の目的に鑑み、できるだけ多くの国の参加を求めたいとして最低14～15カ国の参加を要望している。

なお、割当国としてどの国が適当であるかについては、後日ILANUD側より具体的な要望が示されることになっている。

### 3. 10 定員

ILANUDでは20名程度を要望している。

### 3. 11 参加資格

I L A N U D は前記 3. 5 記載の初年度研修の目的に鑑み、研修員を政策決定レベルの人物とすることを要望している。但し、研修員の選定は参加各国の国内問題であり、各国にはそれぞれの事情があるので、政策レベルの人物であることを参加の絶対の必要条件とすることは困難ではないかと思われる。

### 3. 12 研修実施機関 (I L A N U D)

#### (a) 設立 1975年 7月 11日

所在地 Apartado 10071- 1000 San José, Costa Rica

代表者 所長 Dr. Jorge A. Montero (Director General)

(元コスタ・リカ司法大臣、国連大使)

#### (b) 国連組織であり、コスタ・リカ政府からは独立している。(但し、所長はコスタ・リカ政府の任命)

コスタ・リカ政府とは同国司法省を窓口として連絡を取り合っているが、モンテロ所長が元司法大臣、国連大使であり、また、外務省や司法省から職員を迎えていることもあり、両者の関係は極めて良好である。

I L A N U D は、地域内諸国の司法省等関係官庁と独自のルートを持っているが、コスタ・リカ外務省を通じて同国の外交チャンネルを使うこともでき、実際、I L A N U D の活動上両者を使い分けているとの説明であった。

#### (c) 職員は 6 3 名である。所長、次長の下に研修部、技術援助部、調査部、渉外部 (Extension Dept.)、総務部 (Operation Dept)、事務局、資料センター、トレーニング・センター (日本の組織によくある「トレーニング・センター」とは違い、地域内諸国の問題点の調査、その解決のための方策の研究、その実施のための技術援助等を総合的に行う機関)、所長室などの部局があり、業務を分担し、かつ有機的に活動している。

なお、研究及び事務事項に関しては、I L A N U D の職員によって処理されているが、研修の講師については登録講師制度 (Associate Expert System) をとっている。すなわち、周辺諸国及び先進国の実務家、学者等約 120 名について講師として登録しておき、研修の実施にあたってその中から適当な人物を選び出し、招へいするという方法である。

また、所長以外の職員はすべて I L A N U D 採用の専従職員であり、コスタ・リカ人ばかりではなく、周辺諸国からも多数採用している。

#### (d) 予算は年間約 250 万ドル。但し、そのうち 200 万ドルは中南米 1 3 カ国の司法制度改善プロジェクトに対するアメリカ合衆国連邦国際開発庁 (U. S. A I D) からの資金援助である。その他の収入についても、コスタ・リカ政府からの援助を除き、諸外国の民間機



関からの寄付や特定のプロジェクトに対する外国政府等からの資金援助に頼っている。

- (e) 関連組織は特になく、また、特定のプロジェクトに対する出資を除き、コスタ・リカ政府以外に継続的・組織的な支援者はいない。

### 3. 13 研修指導能力

講師については上記のとおり。なお、ILANUD内にも薬物問題の専門家がいるが、その能力については不明。

テキストについては、各研修員のカントリー・ペーパー、各講師の講義要綱以外は特に用いられない予定である。しかしながら、ILANUDの常用語はスペイン語であり、中南米においてはほとんど英語が使われておらず、使える者が少ないとの実情から、本研修に対し日本から講師やアドバイザーを派遣する場合、携行資料やこれらのペーパーの翻訳（英語＝西語）の必要性の問題が生じる。

ILANUDは、国際研修を恒常的に多数主催しているが、これだけ組織的・総合的に薬物問題を主題としたコースを組むのは初めてである。

### 3. 14 研修運営能力

上記のとおり、ILANUDは多くの国際研修を実施しているうえ、その事務処理はすべて自己において行っており、研修部、事務局に経験豊富な職員を擁していることから、全く問題ないものと考えられる。

### 3. 15 建物・施設

(a) ILANUD本部のある司法ビル内に会議場（460人収容）があり、また、本部内やトレーニング・センター（本部から車で10分くらいのところに所在）に小会議室があるので、これらを会議場や研修運営本部として使用することができる。なお、同司法ビル内には食堂もある。

(b) ILANUDには宿泊施設がないが、上記の施設は市内にあるため、市内のホテルを利用することができ、従来のILANUDにおける国際研修もそのように行われてきている。但し、センホセ市内のホテルは宿泊料がかなり高いことから、後述の問題が生じる。

(c) ILANUDには、ビデオ、OHPなどの機材はあるが、同時通訳用の機器がなく、前記3. 13の状況を考慮すればこれが本研修実施上障害になるおそれがある。

なお、ILANUDは、本研修を教材用にビデオ撮影したい旨の希望を有しており、そのための資金援助を望んでいる。

### 3. 16 予 算

(a) 現在 I L A N U D において本研修の予算案を作成中であり、次回調査団派遣までに J I C A に連絡予定。

(b) 予算上の問題点（第三国研修実施に際し、通常 J I C A が支出している経費以外の経費で I L A N U D から要望が出されているもの）をまとめれば、以下のとおりである。

① 周辺諸国からの登録講師招へい費用。

なお、I L A N U D 本部及びコスタ・リカ国内の人的資源は極めて限られており、これら登録講師の招へいがなければ本研修の実施は困難であるものと思われる。

② 研修員の日当・宿泊費及び講師謝金

I L A N U D は国連機関であることから、従来研修員の日当及び宿泊費並びに講師謝金を国連基準に従って支払っているため、本研修についても同様の基準に基づいて支払いたい旨の要望を示しているが、国連の基準は従来の J I C A の基準よりかなり高い。

③ ペーパー等の翻訳、同時通訳、ビデオ撮影等の経費

前記 3. 13 及び 3. 15(c) のとおり、本研修に対し日本から講師又はアドバイザーを派遣した場合、資料・ペーパー等の翻訳、会議における同時通訳等が必要となる。

### 3. 17 先進国の協力

現在までのところ、薬物問題を対象としたこの種の研修について他の先進国又は国連からの援助・協力例は特になし。

### 3. 18 専門家の派遣

(a) 本研修のような地域集団薬物問題研修は I L A N U D にとって初めての経験であり、I L A N U D は研修の実効性を高めることを強く望んでいるところ、過去に地域薬物問題セミナーを実施した実績をもつアジ研から、本研修の組織・運営・成果のまとめ等について広く指導を行うアドバイザー (Academic Director) の派遣を強く要望している。派遣期間に対する I L A N U D の希望は 3 か月である。

(b) その他の講師については I L A N U D は、薬物犯罪についての適切な刑罰代替策（起訴猶予等のいわゆる Diversion）についての専門家及び薬物使用者、特に常用者に対する矯正処遇についての専門家の派遣を求めている。これらの分野についてはラテン・アメリカ諸国は極めて経験に乏しく、専門家がない状況である。

### 3. 19 カウンターパート研修

ILANUDは本研修に関し、単なる講師の能力向上ではなく、本研修の組織・運営・研究の指導及び成果のまとめ等についての能力向上、技術修得を目的としたカウンターパートの日本研修（派遣）を望んでいる。

## ラテンアメリカ及びカリブ海沿岸地域の薬物問題

アジア極東犯罪防止研修所

教官 塩谷安男

### 1. 歴史

ラテン・アメリカ及びカリブ海沿岸地域（以下、本地域という。）における薬物問題の歴史は決してさほど古くなく、それが国際的な注目を浴びるようになったのは1970年代になってからである。しかも当初は、ヨーロッパからアメリカへの薬物密輸の中継地として利用されており、それが本地域内諸国の腐敗政権と結びついて一大密輸拠点となるに至っていたものであり、当初から栽培、製造、販売等が行なわれていたわけではなかった。しかるに、ボリヴィア、エクアドル、ペルーなどの諸国においては、同地原住民のインディオが古来より野生のコカの葉を噛んだり、やはり野生の大麻を吸うなどの習慣をもっていたところ、1970年代初期にアメリカ合衆国などから同地を訪れたヒッピーがこれをまね、アメリカ合衆国やヨーロッパ諸国に紹介したことなどからこれが広く知られるようになった。ところが、これが本地域内における薬物密輸中継を支配していた犯罪組織の注目を集めるところとなり、本地域内諸国において組織的な大麻やコカなどの栽培、製造が行なわれ、主としてアメリカ合衆国に密輸されるようになるに至った。このようにして本地域内の薬物生産は急増し、広大なアメリカ合衆国市場に向けて大規模に密輸されるに至っているが、それとともにこれらの薬物の生産、密輸を支配する犯罪組織も急成長し、本地域内諸国において強大な力を有するとともに、アメリカ合衆国内においても急速に勢力をのばし、「ラテン・アメリカ・マフィア」と呼ばれ、恐れられるに至っている。

### 2. 汚染の現状

本地域内諸国の薬物汚染の現状は、以下のとおりである。

- (1) 薬物の原料栽培が行われているのは、本地域内においてもペルー、コロンビア、ボリヴィア等の一部の諸国であるが、その後の製造、輸送、販売、利益の適法資金偽装化行為（money laundering）及びその利益の投資などの一連の行為が本地域内の多くの国にまたがって、あたかも分業体制であるかのように行なわれており、その結果、本地域全体が薬物に汚染されている状態である。例えば、コスタ・リカにおいては薬物の生産は行なわれておらず、また薬物使用もほとんど見られないが、薬物密輸の中継地として利用されるとともに、近年においては前記 money laundering の舞台としても利用されている。

(2) 本地域内諸国において薬物生産、密取引の経済に与える影響は極めて大きく、特に薬物生産国においては、経済が薬物に依存しているといっても過言でない状況である。例えば、メキシコの薬物密輸出高は同国の正規の輸出収入の75%に相当し、コロンビアのそれは40%、ベネズエラの薬物密輸出高は、同国の石油生産による収入の20%（国家予算の33%）に相当しており、ペルー、ボリビアに至っては、薬物密輸出高は正規の輸出収入のそれぞれ100%、200%に相当しているという状況である。（Comision Nacional de Estupefacientesによる。）

(3) 本地域内の多くの国においては、薬物問題は政治問題化している。すなわち、政府が薬物犯罪に対して厳しい態度を取れば、犯罪組織はそれに対してテロで対抗しており、コロンビアにおいてはこれまでに法務大臣が暗殺されたほか、70人以上の裁判官が犯罪組織の手によって殺されている。また、それら犯罪組織が本地域内諸国の左翼ゲリラやテロリストと手を結び、ゲリラが薬物の栽培地や製造工場、輸送ルートなどを守るかわりに犯罪組織がかれらに必要な資金や武器を供給するということが広く行なわれており、さらにはゲリラ自身が薬物の栽培、生産、販売を行っている例もあり、またキューバ政府が薬物密取引に深く関与しているという噂が絶えない。

さらに、薬物犯罪組織は賄賂によって各国政府の高官とつながりをもっているが（コスタ・リカ政府は、本地域内においてはかなり清潔な政府であるのか、コンタクト調査団が訪れた際、同国においては、警察の最高幹部と国会議員各1名が犯罪組織から賄賂を受領した事件の捜査中であった。）最近注目されているのは、犯罪組織が本地域内各国の公共事業、社会事業等に投資をし、いわば薬物取引による利益の社会還元をはかっている点である。これは特にコロンビアにおいて顕著に見られる現象である。なお、ラテン・アメリカ・マフィアは、本来のマフィア（イタリア・マフィア）より暴力的であるが、社会との繋がりにははるかに強いと言われている。

(4) 本地域内諸国において、近年薬物消費の増加傾向がみられ、深刻な状態となりつつある。従来、本地域内の薬物はほとんどが最終消費地であるアメリカ合衆国に向けて流れていたのであるが、最近になってこれらの諸国、特に生産国の国内において、余剰薬物がむしろ合衆国内よりも高い価格で売却・消費されるようになってきており、それが急速な増加傾向を示している。その結果、これらの諸国における薬物消費者・依存者の人口は増加しており、例えば、ボリビアにおいては12才から25才までの人口の11%がコカイン中毒に陥っているとみられている（International Board on Drug Control Report, Vienna 1987）。こうして、薬物の国際的密売組織にとって同地域内諸国は新しい市場となり、薬物生産量の増加をもたらしているが、それに伴って本地域内の多くの国は深刻な薬物問題を国内問題として抱えるに至っている。

### 3. 薬物対策の問題点

以上のような現状に対し、同地域内の各国政府は現在までのところ、有効な対策を取り得ていないが、現状における問題点は以下のとおりである。

- (1) 薬物市場その他の薬物密取引に関する関係諸国間の情報交換体制の欠如
- (2) 金融機関その他の事業に投資された薬物取引組織の資金の流れの解明などに関し、関係捜査・訴追機関の強化のための立法の欠如
- (3) 薬物の入手、所持、使用及び不法な薬物取引の直接的又は間接的な利益の適法資金偽装化行為 (money laundering) 等の処罰並びに左記利益の没収のための立法の欠如
- (4) 麻薬及び向精神剤製造に必要な原材料物質等の製造、輸出入、輸送及び販売に対する厳重な取締の欠如
- (5) 薬物の製造、濫用及び密取引のより効果的な取締のための司法、警察及び税関関係機関の地域内協力体制の欠如
- (6) 薬物の製造、濫用及び密取引に関する統一的・有機的な国内立法の欠如
- (7) 国際的薬物密売組織に対するより効果的な対策となる、具体的な薬物濫用及び薬物密取引事例についての犯罪人引渡並びに司法、警察及び税関等関係機関の協力などに関する本地域内の特定の2国間又は多数国間の協定の欠如
- (8) 薬物濫用を減少させるために必要な社会状況や個々人の協力を導き出す民間の組織的又は個人的な努力を育成する防止政策の欠如
- (9) 国際レベルにおける薬物原料作物に対する換金性の高い代替作物の栽培及び貧困であるがゆえに、薬物原料作物の栽培に傾きやすい農民層の社会的経済的発展の促進に対する本地域内諸国政府の明確かつ断固たる政策の欠如

## 資 料

1. I L A N U D の 組 織 ・ 業 務 内 容 に つ い て ( 含 組 織 図 )
2. 第 三 国 研 修 「 麻 薬 犯 罪 防 止 」 実 施 に 関 する 討 議 内 容 ( I L A N U D 側 作 成 )





## 1. ILANUDの組織、業務内容について

ILANUD firmly believes that peace, democracy, freedom, socio-economic development and the general welfare of Latin American and Caribbean people can be strengthened and enhanced through independent, accessible, and efficient judicial systems and a modern approach to crime prevention and the treatment of offenders in a context of full respect for Human Rights.

06/04/88

## ILANUD

The United Nations Latin American Institute for Crime Prevention and the Treatment of Offenders (ILANUD) was formed by an agreement between the United Nations and the Government of Costa Rica in 1975. It is an autonomous, regional, service-oriented and nonprofit international organization.

ILANUD's central purpose is to cooperate with the Latin American and Caribbean governments to promote efficient and effective judiciaries, crime prevention and up-to-date treatment of offenders, and thus contribute to a harmonious social and economic development in a context of full respect for Human Rights.

## ORIGIN AND GUIDELINES

International cooperation in crime prevention and criminal justice has progressively increased since 1948 when the U.N.'s Economic and Social Council urged the United Nations to assume the leadership in this sphere. Since then, the United Nations system has increased its ability to guide and support research, training and technical cooperation. As part of this effort and to respond to the evolving requirements of Member States, the U.N. sought to establish regional entities such as ILANUD.

ILANUD is guided by policies defined by the Economic and Social Council and by its Commission for Social Development and also by the decisions of the U.N. Committee on Crime Prevention and Control and of the Quinquennial Congresses on the Prevention of Crime and the Treatment of Offenders. ILANUD also works closely with the U.N. Crime Prevention and Criminal Justice Branch, Centre for Social Development and Humanitarian Affairs, Division of Social Development. Nonetheless, ILANUD maintains autonomy in planning and deciding on the specific programs and projects it undertakes or supports.

Working relations are also maintained with other United Nations organizations and specialized agencies such as the United Nations Development Program (UNDP) and other international organizations working in the area of social defense.

#### ILANUD, A UNIQUE INSTITUTION IN LATIN AMERICA AND THE CARIBBEAN

As the only regional institution of its kind in Latin America and the Caribbean, ILANUD responds to the needs expressed by the governments of the region and develops programs and projects in the following areas:

- Penal Systems, Due Process and Constitutional Justice
- Judicial Organization and Administrative Systems
- Prison Systems and Alternatives to Imprisonment

- Crime Prevention and Juvenile Justice
- Alternative Means of Dispute Resolutions
- Agrarian Justice
- Organized Crime, especially Drug Trafficking
- Legal Protection of the Historical, Archeological and Cultural Heritage
- Legal Protection of the Environment and Natural Resources

These programs and projects are implemented through research, training, technical assistance, extension services, dissemination of information and public education.

The Governments of Latin America and the Caribbean and the U.N. Economic and Social Council and General Assembly have expressed recognition for the work of ILANUD..

#### SPECIFIC OBJECTIVES

1) To promote among the governments of the region the willingness and determination to include within their national development programs policies and strategies on criminal justice, crime prevention and respect for Human Rights.

2) To promote among the governments of the region the political will to enact or give full effect to legislation guaranteeing the efficiency, accessibility, efficacy and

functional and administrative independence of judiciaries in accordance with the guidelines promoted at the U.N. Seventh Congress on the Prevention of Crime and the Treatment of Offenders and by the O.A.S. Inter American Juridical Committee.

3) To promote the development of actions on criminal justice, crime prevention and respect for Human Rights among organizations and institutions within the region connected with the administration of justice.

4) To strengthen the operational systems of national and regional institutions connected with the administration of justice, especially criminal justice.

5) To upgrade the legal, administrative and technical competence of human resources in those same institutions.

6) To conduct basic and action-oriented research in criminology and social response, especially in relation to criminal justice systems.

7) To collect, process and disseminate information on crime prevention, treatment of offenders, criminal justice and Human Rights.

8) To educate the public in the areas of crime prevention, legal rights and duties and legal services.

## BENEFICIARIES

- National and regional institutions that administer justice, especially criminal justice, or those indirectly related with the administration of justice such as law faculties and bar associations
- Judicial personnel
- Decision makers such as Congressmen, Ministers of Justice and other political leaders
- Senior Professionals
- Litigants
- Prosecutors
- Public Defenders
- General Public

## SERVICES

### Research

ILANUD has completed more than twenty research projects as well as published an important number of books, monographs, articles and documents. It has also sponsored research initiatives carried out by other institutions and organizations.

ILANUD has conducted comparative studies, disseminated scientific knowledge among countries of the region, promoted an

integrated regional criminal policy in collaboration with governments, universities and experts in the region and used research results to provide training and technical assistance services.

As research work progresses, greater and more urgent needs arise in different fields and ILANUD endeavors to respond appropriately.

ILANUD current research projects include: a) Minor Offences Systems in Latin America; b) Prison deinstitutionalization; release on bail, release under his/her recognizance and systems of fines; c) Prevention policies and use of prison for drug offences; d) Comparative statistical studies on criminality; e) Social control, new dimensions in criminality, crime and development; f) Social classes and differential criminality; g) Rights of those in custody; h) Historical and cultural heritage legal protection; i) Environmental legal protection; j) Functioning and institutionalization of agrarian justice; k) Situation of pretrial detainees.

## Training

Because of the overriding importance of training personnel from the justice system in modern legal, administrative and technical aspects, ILANUD places a high priority on training.

During recent years, ILANUD has greatly increased its training services offering: a) a wide variety of courses, seminars and workshops to upgrade human resource efficiency; b) symposiums and meetings which provide opportunities for discussions, definition of policy and strategies, analyses and evaluations and exchange of information and experiences; c) scholarships for postgraduate training in criminal justice and agrarian justice; d) study tours abroad; e) production of training materials used as training aids for individual learning and for dissemination purposes.

Each year regional and national courses, seminars and workshops are offered in different countries of the region, on such subjects as:

- . Strengthening of Court Organization and Administration Systems
- . Functioning and Institutionalization of Agrarian Justice
- . Modern Criminal Procedures in Latin American Legal Systems
- . Modern Prosecution Methods and Reforms
- . Penitentiary Planning and Human Rights



- . Juvenile Justice and Human Rights
- . Environmental Legislation and Criminal Process

Most of the training events organized and implemented by ILANUD include a component on Human Rights developed in collaboration with the Inter-American Institute of Human Rights,

National event themes respond to requests made by the governments of the region. These events are addressed to judges, prosecutors, legislators, public defenders, prison officials and criminal policy and administration of justice planners. Instructors are drawn from among ILANUD's professional staff and associated experts in Latin America and Europe. X

Since 1975 ILANUD has conducted over 100 national and regional courses, seminars and workshops for over 2,000 administration of justice system officials and others closely connected with the system.

#### Technical Assistance and Advisory Services

To assist in improving the administration of justice, ILANUD provides technical assistance and advisory services to countries within the region by designing and developing work methodologies and pilot projects and by contracting expertise in specific areas.

Examples of ILANUD advisory and technical assistance services:

**.Statistical Information System on Criminal Justice.**

An urgent, common need exists among the countries of the region to develop relevant and reliable statistical and case flow information to improve the operation and management of the judicial systems. Long-time recognition of this need has resulted in the following ILANUD initiatives:

. A Manual titled: "Establishment of an Integrated System of Statistics on Criminality" to assist the countries in developing their ability to compile, process and make available useful statistics within the justice sector for planning purposes. This manual was prepared and presented in 1983 at the Statisticians Conference of the Governments of the Americas held in Buenos Aires, Argentina.

.Design and implementation of a criminal justice information model for judicial administration control and case flow follow-up.

.Design and development of training activities for officials responsible for the implementation of the system.

### .Criminal Law Information System.

Judges, prosecutors and lawyers find it difficult to obtain basic information on current applicable law and jurisprudence. ILANUD has developed, therefore, a model to collect, systematize and update judicial information and thus provide up-to-date, systematic and official data on legislation, jurisprudence and doctrine (legal theory and commentary). ✓

### .Court Organization and Administration System.

The installation of a modern court administration system has been hampered by a lack of:

- .adequate financial resources
- .full judicial independence from the executive branch of government
- .career stability and civil service status in judiciaries
- .systematic training programs
- .efficient administrative management and planning systems
- .decentralized management systems
- .uniform procedures and
- .useful and timely judicial statistical systems.

To upgrade court administrative systems and contribute to the solution of existing problems, ILANUD provides planning and management advisory services to the countries in the region.

## **.Computerized Data Base for ILANUD Documentation Center**

To satisfy the increasing requests from the region and to comply with resolutions of recent U.N. Crime Prevention and Treatment of Offenders Congresses to establish a worldwide information network, a computerized data base system is being implemented at the ILANUD Documentation Center (CEDO). This system has enabled CEDO to improve and expand its services.

## **.Basic Law Libraries.**

Because of a serious lack of available legal materials in the region, ILANUD is providing pre-cataloged collections of books and materials on criminal law, criminal process, criminal policy, constitutional, juvenile and civil law to Supreme Court central libraries and Law School libraries in the Central American and Caribbean countries. ILANUD is also training court librarians in processing information and in organizing user services.

## **Extension Services for Country-Specific Activities**

To address country-specific needs, the Extension Service coordinates with and assists national authorities and institutions involved with the administration of justice, such as National Justice Improvement Commissions, Law Schools,

specific requests for training and technical assistance are channeled to the corresponding ILANUD services for appropriate action.

Examples of in-country coordination and liaison efforts:

- Training for justices of the peace in Guatemala.
- Training for bailiffs in the Dominican Republic.
- Assistance in developing procedures and implementing the judicial career law in Honduras, recently adopted by the Supreme Court.
- Technical assistance to Guatemala's judiciary for a technical study necessary to place regional justices of the peace, who under the new Constitution assume jurisdictional functions previously exercised by municipal majors.
- Assistance to Costa Rica's Judicial School in the development of training courses on agrarian jurisdiction, criminal environmental legislation and criminal and civil procedure legislation.

### Information

#### Documentation Center

In 1980, following the recommendation of the U.N. Committee on Crime Prevention and Control and because of the lack of information on crime in the region, ILANUD established a clearinghouse on Criminology and Criminal Justice (CEDO).

CEDO collects and processes information on crime and criminal law and makes it available through the publication of bibliographies, indices and specialized directories.

Today, CEDO is regarded as one of the region's most important clearinghouses specializing in criminal science and criminology. It has more than 17,000 catalog referenced items which include books, articles, theses and periodicals, covering the most important regional and worldwide academic and research publications.

### Publications

Since 1978 ILANUD has been publishing a magazine that specializes in criminology and criminal policy. Contributions from internationally reknown experts have given stature and a solid reputation to this semi-annual publication. Subscriptions are available on a worldwide basis. ILANUD also publishes a quarterly newsletter.

### EDITORIAL COMMITTEE

ILANUD has felt it important to step up its efforts in the publication and dissemination of relevant academic works.

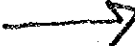
Therefore, during 1987, ILANUD established an Editorial Committee to evaluate and recommend for publication, top-quality

academic works produced by Latin American researchers and academic authorities in the fields of administration of justice, crime prevention and treatment of offenders.

The Editorial Committee consists of 15 leading Latin American experts working in professional fields within ILANUD's areas of interest.

#### ORGANIZATIONAL STRUCTURE

A Director General appointed by the Government of Costa Rica, with the concurrence of the United Nations, is the chief executive official of ILANUD.

Members of ILANUD Advisory Board are international experts from law schools, research centers, multilateral organizations and judiciaries, as well as distinguished experts from the social, legal and political fields who assist the Director General in the formulation of institutional guidelines and policies. 

At the operational level, ILANUD has a Deputy Director, a Director of Operations, a Controller, five departments: Technical Assistance, Training, Extension Services, Research and Administration and Finance, an Office of International Cooperation within the Office of the Director General and a Documentation Center.

## LOCAL, REGIONAL AND INTERNATIONAL SUPPORT

The Government of Costa Rica provides a significant annual financial contribution to ILANUD as well as physical facilities.

ILANUD has entered into cooperative agreements with the Latin American Governments and the Government of Spain through which financial and technical support is provided to the Institute.

To strengthen and expand ILANUD programs and projects, the following multilateral and bilateral agencies, academic institutions, non-governmental organizations and foundations have provided financial contributions:

The United Nations Development Programme (UNDP)

U.S. Agency for International Development (AID)

Ford Foundation

Organization of American States (OAS)

Defence for Children International (DCI)

The United Nations Fund for Drug Abuse Control (UNFDAC)

Inter American Institute of Human Rights (IIHR)

United Nations Social Defence Research Institute (UNSDRI)

Ibero-American Cooperation Institute of Spain (ICI)



Japanese International Cooperation Agency (JICA)

The United Nations University of Tokyo

Inter American Commission for Drug Abuse Control (CICAD)

National Institute of Criminal Science of Mexico (INACIPE)

## Advisory Board

### Officers

Edmundo Vásquez Martínez (Guatemala)\*  
President, Supreme Court and President,  
Advisory Board-ILANUD

Miguel Sánchez Méndez (Colombia)\*  
Director, Judicial School,  
Member, U.N. Committee on Crime  
Prevention and Control and  
Vice President, Advisory Board-ILANUD

José Arturo Alves Da Cruz Rios (Brazil)\*  
Professor, Law School,  
Federal University of Rio de Janeiro,  
Member, National Council on Criminal and  
Penitentiary Policy and  
Vice President, Advisory Board-ILANUD

Jorge A. Montero (Costa Rica)  
Director General ILANUD and  
Secretary, Advisory Board-ILANUD

### Members ✓

Jaime Malamud (Argentina)  
Presidential Advisor

Carlos José Gutiérrez (Costa Rica)  
Costa Rican Ambassador to the U.N.,  
Professor, Law School,  
University of Costa Rica

Ramón de la Cruz Ochoa (Cuba)  
Attorney General.

Giuseppe Di Genaro (Italy)\*  
Director, United Nations Fund  
for Drug Abuse Control

Minoru Shikita (Japan)  
Director, Penitentiary System,  
Ministry of Justice,  
Former Director, Crime Prevention and Criminal  
Justice Branch

(\*) Member Permanent Committee

Sergio García Ramírez (Mexico)\*  
Attorney General

Farouk Mourad (Saudi Arabia)  
Director, Arab Security Studies and Training Center,  
Member U.N. Committee on Crime Prevention  
and Control

Enrique Bacigalupo (Spain)  
Professor, Universidad Complutense,  
Member Constitutional Court

Margaret Joan Anstee (United Kingdom)  
Director General,  
United Nations Office at Vienna and  
U.N. Undersecretary General

Philip Heymann (U.S.A.)  
Professor, Law School,  
Harvard University

Orlando Contreras (Venezuela)  
Professor, Central University of Venezuela

(\* Member Permanent Committee

Executive Staff

Jorge A. Montero (Costa Rica)  
Director General

Eliás Carranza (Argentina)  
Deputy Director General

Ricardo Ulate (Costa Rica)  
Director of Operations

Teresa Peña (Dominican Republic)  
Director of Training

Tirza Rivera (Costa Rica)  
Director of Technical Assistance  
and Advisory Services

Oscar Arce (Costa Rica)  
Director of Extension Services

Rogelio Pérez Perdomo (Venezuela)  
Director of Publications and  
Coordinator, Editorial Committee

Sonia Brenes (Costa Rica)  
Director of Finance and Administration Services

Isabel Chacón (Costa Rica)  
International Cooperation Officer  
Office of the Director General

Editorial Committee

Lolita Aniyar de Castro. (Venezuela)  
Director, Institute of Criminology  
Law School, University of Zulia

Joaquim Falcao (Brazil)  
President Pro Memoria Foundation  
Professor, Sociology of Law  
Federal University of Rio de Janeiro

Fernando de Trazegnies (Peru)  
Dean, Faculty of Law  
Catholic University

Jorge Mario García La Guardia (Guatemala)  
Executive Director  
Inter American Advisory and  
Electoral Promotion Centre

Jaime Giraldo Angel (Colombia)  
Supreme Court Magistrate

Héctor Gros Espiell (Uruguay)  
Judge, Inter American Court of Human Rights  
Academic Director, Inter American Institute  
of Human Rights

Carlos García Valdés (Spain)  
Director, Center of Judicial Studies

Carlos José Gutiérrez (Costa Rica)  
Costa Rican Ambassador  
to the U.N.  
Professor, Law School, University of Costa Rica

Julio Maier (Argentina)  
Professor of Criminal Law  
University of Buenos Aires

Eugenio Raúl Zaffaroni (Argentina)  
Professor of Criminology  
Faculty of Psychology  
National University of Buenos Aires

Lorenzo Zolezzi (Perú)  
Head, Law Department  
Catholic University of Peru

Héctor Fix Zamudio (Mexico)  
Judge, Inter American Court of  
Human Rights

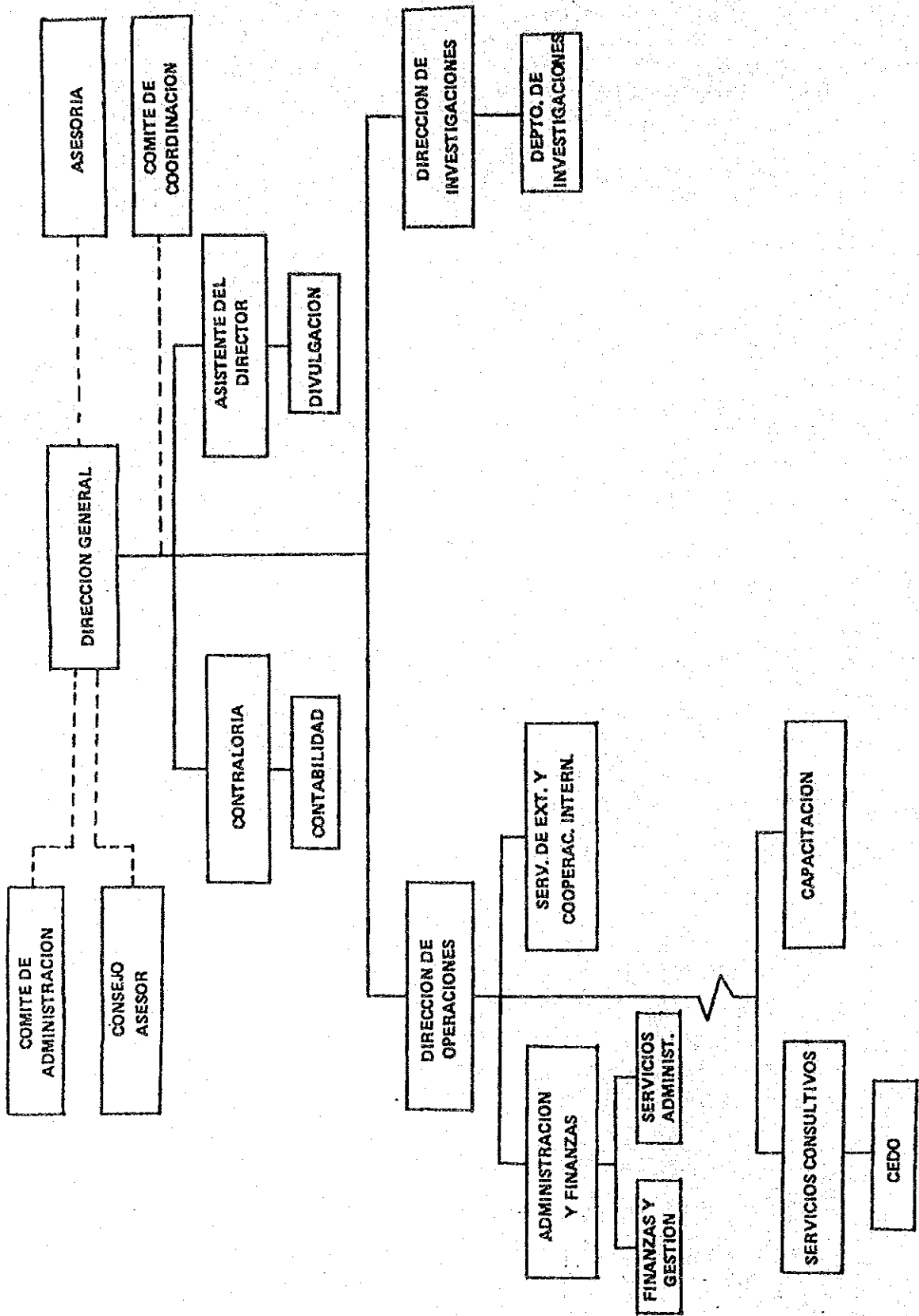
Luis P. Salas (U.S.A.)  
Director, Center for the Administration of Justice  
Florida International University

Rogelio Pérez Perdomo (Venezuela)  
Professor, Law School, Central University  
Coordinator, Editorial Committee

INSTITUTO LATINOAMERICANO DE NACIONES  
UNIDAS PARA LA PREVENCIÓN DEL DELITO  
Y EL TRATAMIENTO DEL DELINCUENTE  
(ILANUD)  
P.O.Box 10.071 San José 1000 Costa Rica  
Telephone: 21 38 86 or 21 39 58  
Telex: 2849-ILANUCR-

ORGANIGRAMA ILANUD

1987





2. 討議内容 ( ILANUD 側作成 )

FIRST REGIONAL SEMINAR ON THE PREVENTION OF CRIME AND THE  
TREATMENT OF OFFENDERS: PURSUING EFFECTIVE COUNTER MEASURES  
AGAINST DRUG OFFENSES

LOCATION: ILANUD-SAN JOSE, COSTA RICA

DATE: January/February 1989

NUMBER OF PARTICIPATING LATIN AMERICA AND  
CARIBBEAN COUNTRIES: 12

MAXIMUM NUMBER OF PARTICIPANTS: 24

## BACKGROUND AND JUSTIFICATION

Drug trafficking in Latin America emerged as a major international problem in the decade of the 1970's, although there had been drug trafficking from Europe through Latin America prior to this period. This early traffic was intimately tied to contraband activity and official corruption as is often drug trafficking today. It did not, however, involve, in any major way, the cultivation, processing and distribution of drug indigenous to the region.

Organized crime in the region appears to have evolved in phases or stages. They are as follows. First, the predatory stage of street and hoodlum gangs. Second, the parasitical stage of criminal syndication, in which the organized crime group develops connections with the legitimate political and economic sectors of society. Third, the symbiotic stage. Here the organized criminal syndicate and its activities become so intertwined with the legitimate system that a mutual dependence and acceptance develops.

Thus, the majority of transnational organized crime groups involved in drug trafficking are of a relatively recent vintage. These cartels often operate with cultivation in one country, processing in a second, with chemicals from a third, and the product to be transported through a fourth, for distribution, retailing in a fifth, with the profits laundered through a sixth, and perhaps invested in a seventh nation-state. Thus, one might argue that drug trafficking is the ideal example of a transnational organized crime.

Existing problems or needs within the region are:

- a) The lack of mechanisms for an exchange of information on the structures of illegal marketing and any other aspects of unlawful trafficking in drugs among affected nations;
- b) The lack of adequate legislation to:
  - i) strengthen the ability of appropriate agencies to investigate and prosecute unlawful drug trafficking, including their ability to trace the origin of monies deposited in or transferred among financial and other business institutions by drug traffickers;

Lack of a clear and well-defined policy on the part of the Governments of the region and at the international level to substitute psychotropic crops for other profitable crops and to promote socio-economic development among poor, vulnerable agricultural producers in Latin America and the Caribbean.

An appraisal of the current situation in Latin America and the Caribbean with regard to drug abuse and drug trafficking is a task which must be undertaken immediately. This was the conclusion of the Seventh Congress of the United Nations Latin American Institute for the Prevention of Crime and the Treatment of Offenders. The analysis of the drug problem and the search for adequate solutions which, while they may not provide all the answers, should provide direction, must come as a result of integration and cooperation among the countries in the region; the integration and cooperation should be based on the exchange of information and experiences to establish the true nature of the problem. A clear understanding and rational interpretation of our history, politics and limitations, at all levels, shall lead to an awareness of the dimensions of the problem, its causes, effects, etc.; and will facilitate the search for positions and optimal solutions.

It is absolutely essential that the countries in the region adopt a joint position which takes into consideration the historical, political, social, cultural, and juridical realities they share, and that based on this joint position, each country may define its course of action within a context of full respect of Human Rights.

ILANUD, as a United Nations Institute for the prevention of crime, treatment of offenders and the criminal justice, with a mandate which includes all countries of Latin America and the Caribbean, has been carrying out, since 1975, projects and activities to prevent drug abuse and control in the region.

Some examples of these projects and activities are:

- 1) A study on the prevention of drug abuse and control of unlawful trafficking of drugs in Costa Rica. 1982.
- 2) A study on Comparative drug legislation in Central America 1984.

- 3) A study on the substitution of psychotropic crops in Colombia, Bolivia and Perú, 1984
- 4) A regional meeting on cocaine production levels and the creation of new labor markets. 1984. San José, Costa Rica. ILANUD-UNFDAC.
- 5) An International Survey on criminal measures related to drugs, in collaboration with UNSDRI (1980-1984). 1986.

The Guiding Principles (item d) for Crime Prevention and Criminal Justice adopted by the U.N. Seventh Congress on the Prevention of Crime and Treatment of Offenders, recommends that co-ordination of activities among the U.N. Regional and Interregional institutes should be fostered by institutionalizing contacts and exchanges of information and experiences between them, so as to increase their potential for training, research and technical assistance to interested countries. To the extent appropriate, the specialized agencies and international development institutions and bodies should be closely involved in such activities.

Taking these principles into consideration and in view of ILANUD's and UNAFEI's ample experience in the field of Crime Prevention and Criminal Justice, both Institutions and the Japan International Cooperation Agency have joined efforts to celebrate the First Latin American Seminar on the Prevention of Crime and the Treatment of Offenders: Pursuing Effective Counter Measures against Drug Offenses.

#### GENERAL OBJECTIVE

To conduct an overall evaluation of the problem of the abuse and trafficking of drugs in Latin America and the Caribbean. The problem will be analyzed both in theory and fact for the purpose of proposing feasible and effective regional solutions.

#### SPECIFIC OBJECTIVES

A. To collaborate with the governments of the region in the search for effective means of preventing and controlling the abuse and trafficking of drugs in Latin America and the Caribbean.

B. To offer the participating countries an overall and up-to-date view of topics related to the abuse and trafficking of drugs in Latin America and the Caribbean, placing emphasis on formal and informal social control.

C. To improve the uniformity of juridical-criminal legislation and the practices at all levels within the administration of justice systems in the participating countries.

D. To promote the inclusion of recommendations emanating from the Seminar into the legislation of the participating countries.

E. To promote the adoption of new international juridical instruments which will help combat the problem of abuse and trafficking of drugs.

F. To encourage regional and inter-regional cooperation on research and training of officials responsible for law enforcement.

## CONTENTS

### TOPIC I

#### 1. CURRENT SITUATION IN LATIN AMERICA AND THE CARIBBEAN WITH REGARD TO DRUG ABUSE AND DRUG TRAFFICKING

A. Description and analysis of statistical data such as, figures and volumes related to production, trafficking, confiscation, addict populations, and arrestees.

b. Economic and social factors. The role of each country in the problem: producer countries, countries used as stop-overs, and consumer countries.

c. National policies on the control of drug abuse and trafficking. Organization and operation of the agencies dedicated to control within each country.

d. Ways in which drug abuse and trafficking affect the development of each country and the region.

## TOPIC 2

### 2. FORMAL SOCIAL CONTROL

- a. Response of the Criminal Justice Administration System to drug abuse and trafficking.
- b. Effectiveness of the principles of Criminal Law with regard to the control of such abuse: criminal sanctions, evidentiary system, specification of violations, and the means for applying said sanctions, both in national legislation and international instruments. Difficulties in executing same.

## TOPIC 3

### 3. INFORMAL SOCIAL CONTROL

- a. Existing measures and agencies for the prevention and control of such abuse, in the form of educational programs.
- b. Preventive educational programs at the elementary and high school level.
- c. Participation of the private sector in such programs
- d. Participation of the media in such programs

## TOPIC 4

### 4. POSSIBILITIES OF PROMOTING REGIONAL AND INTER-REGIONAL COOPERATION

- a. International instruments
- b. Unification of legislation
- c. Establishment of documentation centers
- d. Cooperation on the judicial, police, customs and preventive levels

- e. Scientific cooperation and technical assistance
- f. Joint training, and development of the research project

CONCLUSIONS AND RECOMMENDATIONS ON EACH TOPIC

1. The Seminar-Workshop methodology includes three phases.

## PHASE 1

### PREPARATION OF THE SEMINAR/WORKSHOP

- . Selection of an Academic Director
- . Selection of four experts that will serve in the dual lecturer-facilitator capacity
- . Selection of participants in accordance with previously established criteria
- . Preparation and sending of work guidelines to the participating countries to obtain information and statistics on drugs.
- . Review by the Academic Director of the information received from the participating countries
- . Preparation by the Academic Director of the work guidelines to be used by the working groups during the seminar/workshop
- . Coordination of the seminar/workshop activities between the Academic Director and the experts.
- . Review and processing by the Academic Director of materials prepared by the experts and the participants.
- . Publication of these presentations in Spanish and English.

## PHASE 2

### DEVELOPMENT OF THE SEMINAR/WORKSHOP

The working sessions will be conducted as follows:

- . Presentation of each topic by the corresponding experts, followed by a question and answer period for clarification purposes.
- . Presentation of individual country reports on each topic.



- . Group discussion of each topic. The expert will act as facilitator
- . Group work: The participants will be subdivided into smaller groups to discuss each topic in accordance with previously prepared guidelines.

Each small group will prepare a written report at the end of each working session, that will be turned over to the Academic Director for analysis and final preparation.

### PHASE 3

#### FOLLOW-UP ACTIVITIES

The Academic Director will prepare a final report outline on the seminar/workshop to be reviewed by the experts and the participants during the last day of the seminar/workshop.

A final report will be prepared by the Academic Director and sent to the experts for review and comments.

The Academic Director will prepare guidelines and general recommendations that may be used to develop a long term project on the control and abuse of drugs in the Latin American and Caribbean region.

#### PARTICIPANTS

High-level technical officials from governmental institutions (preferably from the Executive Branch and the Justice Administration System), and from organs responsible for studying, making decisions, and taking action with respect to drug abuse and trafficking.

#### REQUIREMENTS FOR PARTICIPATION

The participants will prepare a report on the problem of drug control, abuse and trafficking in their countries, in accordance with the enclosed guidelines.

## GUIDELINES FOR THE PREPARATION OF THE REPORT

### FOR THE FIRST-TOPIC

-Police, judicial and penitentiary statistics (from the last five years) on cases initiated and resolved by the Criminal Justice Administration System which are related to drug abuse and trafficking, including types of crimes and characteristics of the accused (age, sex, social class, nationality, amounts confiscated, etc.)

-Statistics (from the last five years) containing figures on the number of drug plantations, the entry of precursor chemicals into the country, and the amount of drugs which enter into the country or pass through the country on their way to one or more countries.

-Statistics (from the last five years) indicating which social groups are most vulnerable to the consumption of drugs.

-Listing of the governmental institutions which deal with the problems of drugs, indicating the objectives, area of competence programs developed and carried out, budget, etc. of each.

-Is there a national office charged with coordinating policies on the control of drug abuse and trafficking? If so, how does it function?

-Is the problem of drug abuse and trafficking addressed in national development plans?

-Are there non-governmental agencies (international, private, etc.) which deal with the problem of drug abuse and trafficking? If so, what are their objectives, programs and budget?

-Are there high-level national governmental commissions dedicated to the study of the problem of drug abuse and trafficking? If so, what is the nature of their role?

### FOR THE SECOND TOPIC

-Provide information on the preventive and repressive police forces, indicating whether or not regulations, specialized personnel, and budgetary resources exist, the number of personnel, work programs, etc.; all in relation to drug abuse and trafficking.

-At the judicial level, are there any specialized courts or judges, or competences dedicated specifically to drug abuse and trafficking?

-In the penitentiaries, are there regulations, specialized personnel or specialized institutions to deal with the problem of drug abuse and trafficking?

-Provide the national and international criminal, criminal procedural, and special criminal legislation in force (regulations, laws, agreements and treaties, etc.)

-Are there conflicts in the application of local legislation and international instruments?

#### FOR THE THIRD TOPIC

-List of the institutions which have preventive educational programs, indicating the programs, objectives, results, and whether or not diagnoses or studies have been made as to the effectiveness of such measures, etc.

-The sectors to which these preventive educational programs are addressed.

#### FOR THE FOURTH TOPIC

-Are there institutions within the country dedicated to conducting research on drug abuse and trafficking?

-List the studies carried out on drug abuse and trafficking in the country, and indicate the institutions responsible for same.

-List the treaties, agreements, etc. signed by your country, and indicate which have been ratified.

The following experts are offered for consideration as presenters of each topic:

TOPIC I Sergio García R. (México)

TOPIC II Edgar Saavedra (Colombia)

TOPIC III Edith Massun (UNESCO)

TOPIC IV Horacio Cattani (Argentina)

15/4/88

ATTACHMENT NO.1

MEXICO

ERADICATION OF ILLICIT PLANTATIONS  
January 1 to December, 1987

POPPY SEEDS

PLANTATIONS	(NUMBER)	23,678
AREA	(HECTARES)	2,417

MARIJUANA

PLANTATIONS	(NUMBER)	24,678
AREA	(HECTARES)	3,539

FORFEITURES

<u>COCAINE</u>	(KILOGRAMS)	8,675.4
----------------	-------------	---------

<u>MARIJUANA</u>		
Dried plant	(KILOGRAMS)	389,905.6

<u>OPIUM DERIVATIVES</u>	(KILOGRAMS)	347.4
--------------------------	-------------	-------

VEHICLES

Land transportation	1,742
Air transportation	35
Maritime transportation	21

<u>WEAPONS</u>	2,180
----------------	-------

<u>DISMANTLED LABORATORIES</u>	7
--------------------------------	---

Total detainees and persons held for trial before the Judicial Authorities for offenses against health	9,531
--	-------

2) INCOME OBTAINED BY SOME LATIN AMERICAN COUNTRIES FROM DRUG EXPORTS

MEXICO: 75% of the total income resulting from exports corresponds to drug exports.

COLOMBIA: 40% of the total income resulting from exports corresponds to the drug exports.

VENEZUELA: 20% of the income produced by Venezuela's oil can be attributed to income generated from drug exports (equivalent to 33% of the National Budget).

PERU: Drug export equal total exports by 100%.

BOLIVIA: Drug export equal total exports by 200%.

COLOMBIA

The figures listed below reflect the seriousness of the problem in Colombia.

Seizures\*

	1981	1982	1983	1984
Kilograms of cocaine leaves	549	1,580		
Lab. process	12	106	6	107
Kilograms of marijuana	3,413,000	3,419,000	7,940,000	1,453,276
Cocaine leaves	2,900,000	18,530,000	46,670,000	22,800,000
Marijuana plants	640,000	8,500,000	18,900,000	6,400,000
Kilograms of cocaine (powder)		900	3,521	529,614
Kilograms of cocaine paste			15,247	

Source: Comisión Nacional de Estupefacientes

\* Five first months

DATA FROM THE INTERNATIONAL BOARD ON DRUG CONTROL REPORT

(Vienna 1987)

- BOLIVIA In 1985 production of cocaine leaves increased from approximately 120,000 to 160,000 tons.
- 11% of the Bolivian population between the ages of 12 and 25 are addicted to drugs (they inhale cocaine paste)
- PERU 170 landing strips have been destroyed since 1985
- BRAZIL 5,5 million ripe cocaine plants have been destroyed
- COLOMBIA In 1985 there were from 30,000 to 50,000 hectares cultivated with cocaine
- Since 1986 more than 500 laboratories have been dismantled
- ECUADOR In 1970 it was a country only used for trafficking. At present it has plantation and processing laboratories. From 1984 to 1986, 1,000 cocaine hectares were destroyed and 81 laboratories were dismantled.
- JAMAICA 2,200 marijuana hectares were destroyed in 1986 and 950 in 1985







JICA